

“居場所づくり”はじめての一步!!



今回は「居場所づくりのはじめての一步」をテーマに実施しました。

■サロン活動「見て・聞いて」

ミニシンポジウムでは区内で活動する3つのサロンについて、映像で活動の様子を紹介。また、代表者の方々から立ち上げたきっかけやエピソードなどを伺いました。

会場の皆さんも興味深そうに聞き入っていました。



■6つのサロンを「体験」

会場を模様替えして、脳トレ(数字並べ)、スポーツ吹き矢、スポーツスタッキング、おしゃべりサロン(折り紙、クイズ)、らくらく体操を同時に開催!

参加された方から「らくらく体操をしてみて運動能力の低下をまろに感じた」「ドキドキしながらも楽しい」との声も!皆さんの笑顔あふれるサロン体験コーナーでした。

各地で活躍する

今回の担当は… **中部ブロック!**
(基幹・あだち・関原・中央本町・本木関原)



絆のあんしん協力員

笑顔での訪問、心掛けています

協力員の田中好江さんは平成27年2月から近所にお住いの一人暮らしのTさんを定期訪問しています。

昨年の夏、いつもと様子が違うTさんを見て、すぐに地域包括支援センターに連絡。蒸し暑さによる体調不良のため救急搬送し、しばらく入院となりました。今は元気に過ごされています。

田中協力員は「早く気がついて良かった。これからも訪問活動を続けていきます。」と笑顔でおっしゃっています。



◆地域包括支援センター本木関原
絆のあんしん協力員 田中さん(右)とTさん

Tさんをはじめ職員一同、田中協力員の優しさと細かい心遣いに感謝しています。

主役は参加者と絆のあんしん協力員です!!

「サンかふえ梅田」は認知症の方、そのご家族、お友達、地域住民みんなのカフェです。絆のあんしん協力員7名が活躍し、参加者も皆に会えて催しもあるカフェの日が来るのを楽しみにしています。

カフェ開催日、協力員さんが担っているのは次のうち、どれでしょうか?

- ① 会場のテーブルセッティング
- ② お茶の準備・片づけ
- ③ その日の催し事の準備
- ④ 参加者との交流
- ⑤ 歌う・体操する・笑う!

答は……全部です!!



「サンか」はみんなで「参加」という意味

【お問い合わせ】
地域包括支援センター関原
電話：3889-1487

『地域の居場所づくり講座』

「地域の居場所づくりについて」を年間テーマに設定し、NPO 活動支援センター長の宮本氏を講師に迎え開催しています。

地域の居場所の必要性や、どんな居場所があるのか、また、自分達の地域には具体的にどんな居場所が必要か、などを皆さんと一緒に考えました。



【平成 28 年度 実施内容】

第 1 回：コミュニティビジネスとは

第 2 回：どんな居場所があるの？

～地域の再発見～

第 3 回：あったらいいな、こんな場所♪

～お茶べり連絡会～

第 4 回：サロン体験会

地域包括あだち（絆のあんしん連絡会）

■地域に 2 箇所のサロンが誕生！

絆のあんしん協力員の方々が中心となって、新たに 2 箇所のサロンが立ち上がりました。絆のあんしんネットワーク連絡会で立ち上げ報告をおこない、地域の居場所についての情報を皆さんで共有しました。

「シュシュ絆」

開催日：毎月第 2・4 火曜日

13 時～14 時 30 分

会 場：足立区中央南集会所

参加費：100 円



「わくわくお茶べりサロン」

開催日：毎月第 2 月曜日

13 時～15 時 ※祝日の場合は第 3 月曜日

会 場：五反野西町会会館

参加費：100 円

『お互いの活動を知り合う』

高齢者に関わる地域の団体・活動紹介《第 1 弾》をテーマとして、絆のあんしん連絡会を開催しました。

暮らしの困りごと、生活全般のお手伝い〔暮らしのあんしんサポート事業〕を行っている NPO 法人「足立ほがらかネットワーク」と、高次脳機能障害に関する相談支援やデイサービス事業を行っている NPO 法人「足立さくら会」の代表者より活動の具体的な内容と日々の事例を丁寧に説明いただきました。



《足立ほがらかネットワーク
添田会長》

地域包括中央本町（絆のあんしん連絡会）

説明後、参加者 36 名がグループに分かれ、「最近地域で気になることを感じること」「こんな活動ならやってみたい」などをテーマに意見交換を行いました。



《足立さくら会・淵協理事長》

どのグループからも活動のヒントになるエピソードや、熱を帯びた意見が飛び交うほか、「具体的な活動をいくつか聞いて自分でもやってみたくなった」「イメージが湧き、興味がでてきた」「何かできることがあれば活動で協力したい」などのお声をいただきました。

第9回 基幹地域包括オレンジカフェ「ほっとサロン万葉」

きっかけ ～ 単身世帯や高齢世帯が多い（梅島・島根地区）～

管内の町会・自治会に高齢者実態調査を行っていただく中、地域との関わりが無い方が多いことに気付かされました。

自治会調査のあとに包括職員が訪問した自宅に閉じこもりきりのAさん（男性）。音楽関係の仕事をしていたとのことで「自分はもともとプロだから、高齢者にピアノを弾く機会があればやる」と話されました。

調査結果報告会では「その方にも地域活動に入ってもらえば？」という意見がでました。



ほっとサロン万葉の活動の様子

地域での活動に入る ～ 足立万葉苑のスペースをお借りして～

町会・自治会、絆のあんしん協力員さんのご協力により、気軽に参加できる居場所、オレンジカフェ「ほっとサロン万葉」が立ち上がりました。ホールのピアノをお借りすることができたので、さっそくAさんにピアノの伴奏をお願いしました!!



伴奏アレンジもすばらしい!

カフェがオープンすると、近隣の方や施設の利用者、ご家族など20名ほどが参加されます。Aさんのピアノ伴奏に合わせて、皆さん楽しそうに歌っています。

立場がかわった! ～ 支援者として活躍～

地域の方々にとって、カフェは楽しみのひとつです。地域との関わりが無かったAさんにとって、カフェは活躍できる楽しみな場所となりました。

カフェではAさんも地域の方々とながら、関わりあいながら、地域の活動を支える一人となりました。

【お問い合わせ】

基幹地域
包括支援センター

電話：5681-3373

